

平成24年度 研究成果発表会 開催報告

6月14日(木)、15日(金)の2日間にわたり、都産技研本部において研究成果発表会を開催しました。これは都産技研で取り組んだ研究や技術開発の成果を中小企業の方々に広く知っていただくことを目的として毎年行っているもので、今年度はナノテクノロジー、情報技術、エレクトロニクス、システムデザイン、環境・省エネルギー、バイオ応用、メカトロニクス、EMC・半導体、品質強化、ものづくり基盤技術分野について、約70件の研究成果を発表しました。同時に、東京イノベーションハブにおいて研究成果のパネルと成果品の展示も行い、開催期間中には約230名の来場者がありました。

都産技研の研究員以外では、首都圏公設試験研究機関や、都産技研と連携・協働協定を締結している大学・研究機関からも発表いただきました。発表終了後には、熱心に質問される聴講者の姿も多く見受けられました。

森 和男 氏（つくば市 理事で独立行政法人産業技術総合研究所 名誉リサーチャー）による基調講演「アキバの価値観に学ぶこれからのものづくり」には、130名以上の方が聴講に集まりました。森氏は、今後のものづくりについて、顧客のさまざまなニーズに対応できる顧客密着型のものづくりの可能性を示唆されました。

今回ご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後より一層中小企業の皆様にご利用いただけるよう、職員一同取り組んで参ります。

